

令和7年度  
「運営に関する計画」

大阪市立西中島小学校

令和7年4月

(様式 1)

大阪市立西中島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- ・令和 7 年度の児童数が 36 名の小規模校である。全校児童が互いに知り合った関係であり、他学年の児童に対しても思いやりのある子ども達である。また、日々の学習の場面でも、友だちの気持ちを踏まえて活動することがあり、比較的友だち間でのトラブルは少ない。一方で、互いに高めあうような建設的な意見を交わすことは少ない。
- ・生活指導に関する部分では、安全な学校生活を過ごす上で長年課題となっていた廊下・階段を正しく右側歩行することについても、一人一人の子どもが意識するようになっている。互いに声をかけあって安全に過ごす態度も養われている。引き続き定期的な強調週間を設けながら安全に過ごせるように進めるとともに、自ら TP0 に合わせた挨拶をすること、時間を守って行動する力を育めるようにする必要がある。
- ・家庭でのゲームやスマートフォン、SNS の活用時間が長くなったり、使用に伴うトラブルも起こったりしている。情報モラル教育や適切な使用ができるよう指導し、時間の使い方も改善できるようにしたい。また、家庭への啓発も適宜行う必要がある。
- ・令和元年度から 3 年度まで、国語科教育の研究実践「生きて働く言語活動～主体的・対話的で深い学び～」を主題に授業づくりを進め、子どもたちが考えをもち、交流することを通して多面的なものの見方ができ、深い学びを醸成することにつながった。
- ・令和 4 から 6 年度の 3 年間、算数科教育の研究に取り組んだ。授業において積極的に取り組む児童が多いが、基礎的な計算処理をする力や自主的に問題に取り組むことに課題が見られた。また、重さや長さなど、生活のなかで実感したり、興味・関心をもって数量の関係に着目したりすることが難しいと考える。そのため、新たに「ぐんぐんタイム」を設けて継続的に基礎基本の定着を図った。その結果、学力経年調査では、大阪市平均値を上回った。一方で、学力の積み上げがないために十分に学習内容を理解できていない児童も一定数いる。
- ・令和 7 年度からは、体育科の研究を行う。運動やスポーツすることが好き（得意）な児童がいる一方で、嫌い（苦手）と感じている児童も一定数みられる。すべての児童が運動やスポーツをすることが楽しいと思えるように研究し、授業改善を行う。
- ・朝学習や、午後の一人一台端末を活用したり、通常の授業でも、学習コンテンツを活用した授業展開を行ったりしている。そのため、児童は端末を使うことに対して意欲的に取り組んでいて、活用技術も上がってきている。今後も新しいコンテンツを使いより有効な活用方法を検討していく必要がある。
- ・読書週間や図書館開放により、読書に親しむ児童が一定の読書時間を確保できているが、10 分以下や全く読書時間のない児童もいる。毎週火・木・金曜日に読書タイムを設定する。また、図書館司書とも連携した図書室の環境づくりに取り組み、毎日 10 分以上読書に親しむ子どもを育む。また、読書の分野（内容）もより良いものにする必要がある。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和4年度から令和7年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「1日における読書時間」の項目について、「10分以上」と答える児童の割合を50%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を80%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題の正答数が全国平均の7割に満たない児童の割合を、10%以下にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における無回答率を10%以下にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における「書くこと」「読むこと」に関する項目の平均正答率を全国平均の5%以内にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、全学年100以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して最も肯定的な「している」と答える児童の割合を35%以上にする。
- 特に課題である50m走の記録を、令和7年度の全国体力、運動習慣調査において、令和3年度より0.5ポイント向上させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ぐんぐんタイム（毎日5分間基礎・基本の学習時間）での学習者用端末を活用した学習を週2回以上実施する。（学習者用端末とプリント学習の併用も行う）
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 93%以上にする。(R6…92%)
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。(R6…87.5%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合 65%以上にする。(R6…62.8%)
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。(R6…79.8%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 90%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を省く] (R6…89.5%)
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 100%以上にする。(R6…100%)
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。(R6…69.9%)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立西中島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった			
年度目標		達成状況	
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。(R6…92%)</li> <li>・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R6…87.5%)</li> </ul>			
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標			進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会や休み時間の遊び、学習など、異学年の交流に取り組み、学校生活の様々な場面で達成感を味わえる取り組みを行う。(安全教育の推進)</li> </ul>			
指標 全校集会や休み時間の遊びなど、異学年の交流を週1回以上取り組む。			
<b>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーニングの実施や児童一人一人に寄り添った不登校要因への対応及び学習機会の確保を進める。(不登校への対応)</li> </ul>			
指標 月1回、スクリーニング会議を実施し、児童についての情報共有の場を設ける。			
<b>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の推進や道徳教育の充実を図り、自己肯定感を高める取り組みを行う。(道徳教育の推進)</li> </ul>			
指標 年間を通じて、いじめ、自尊感情、人権について考える取り組みを各1回以上実施する。			
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析			
後期へ向けての改善点			

## (様式 2)

## 大阪市立西中島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合 65%以上にする。(R6…62.8%)</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 80%以上にする。(R6…79.8%)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① ぐんぐんタイムや朝学習を利用して、個々に応じた基礎基本の定着を図る。</p>	
<p>指標 学校生活アンケートにおいて「ぐんぐんタイムや朝学習において、自分に応じた課題を選び、進んで学習ができた」の肯定的な回答を 90 パーセント以上にする。</p>	
<p>取組内容② 自分の考えを持ち表現する力を育むようにする。</p>	
<p>指標 学校生活アンケートにおいて、「みんなの前で自分の考えを発表することができていますか。」の肯定的な回答が 90%以上となる。</p>	
<p>取組内容③ 生活習慣を整え、いろいろな活動を通して、体を動かすことの喜びを知り、楽しく運動やスポーツに取り組む子どもを育てる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に 1 回の清潔調べを基に自分の生活習慣を振りかえり、基本的生活習慣の意識の向上をはかる。</li> <li>・児童が休み時間に運動場で遊ぶことが可能な日数の中で、学校生活アンケートの「積極的に体を動かすことができた」と肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期へ向けての改善点

## (様式2)

## 大阪市立西中島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の90%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 ICT活用が適さない日数を省く] (R6…89.5%)</li> <li>第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を100%にする。(R6…100%)</li> <li>小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R6…69.9%)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向6、教育DX（デジタルトランスフォーメンション）の推進】</b> ICT機器を使用して、説明力を高めるなど表現の幅を広げたり、端末を活用した学習に取り組んだりする。（ICTを活用した教育の推進）</p> <p><b>指標</b> ICT機器を活用して、説明や自分の考えを発信したり、他者の情報を受けて、意見交流をしたりする。クラスや委員会活動で、学期に1回ICT機器を活用した発表の機会を設ける。普段の学校生活において、心の天気を入力する習慣を身につけるなど、1日1回学習者用端末を使用する。</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ・ゆとりの日を設定し、時間外勤務時間を減らす。</p> <p><b>指標</b> ・ゆとりの日を月に2回以上設定・実施し、教員の一人当たり平均時間外勤務時間の自校と大阪市平均より短縮させる。</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b> ・学校司書とも協力し、読書に対する興味関心を高め、読書好きな児童を増やす取り組みを行う。</p> <p><b>指標</b> ・学期に1回、図書に関する取り組みを行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期へ向けての改善点